

小・中学校の「総合的な学習の時間」における 各学年の学習活動の実践的傾向

－ 環境教育対象学年を念頭に －

青 木 明 弘*・市 川 智 史**

Practical Trends of Learning Activities for Each Grade during “the Period for Integrated Studies” in Primary and Lower Secondary Schools

－ With the Target Grades for Environmental Education in Mind －

Akihiro AOKI・Satoshi ICHIKAWA

キーワード：総合的な学習の時間、環境教育、実践的傾向

I はじめに

「総合的な学習の時間」（以下「総合の時間」と記す）は、中央教育審議会（1996）『21世紀を展望したわが国の教育の在り方について（第1次答申）』で提言され、1998年改訂の小・中学校学習指導要領で導入された（文部省 1998a, 1998b）（以下、学習指導要領改訂は「xxxx年改訂」のように記す）。

当初、「総合の時間」の学習活動として「横断的・総合的な課題」、「児童・生徒の興味・関心に基づく課題」、「地域や学校の特色に応じた課題」の3つの課題区分が示され、さらに「横断的・総合的な課題」の例として「国際理解」、「情報」、「環境」、「福祉・健康」の4つの領域が示された¹⁾。

その後、2008年改訂（文部科学省 2008a, 2008b）において、小学校の「地域や学校の特色に応じた課題」の中に「地域の人々の暮らし」、「伝統と文化」の2つの領域が加えられ、中学校の課題区分に「職業や自己の将来に関する学習活動」が加えられた。

ところで、「総合の時間」の実践を垣間見ると、学年によって実践的傾向があるように感じられる。仮に実践的傾向があるとすれば、「環境」領域は小・中学校の第何学年で実践される傾向があるのだろうか。

この点を明らかにすることは、「総合の時間」における環境教育の推進に役立つと考える。なぜなら、その学年をターゲットとして、その学年の学習内容に応じた環境教育プログラムを開発し、実践的導入・定着をめざすことが可能となるからである。

そこで本研究では、「総合の時間」の各学年の学習活動における近年の実践的傾向の解明とその要因の検討、および、環境教育対象学年とその学習内容の検討を試みる。

II 方法

文部科学省（以下「文科省」と記す）が行っている「教育課程の編成・実施状況調査」（以下「教育課程調査」と記す）では「総合の時間」の各学年の課題区分、領域等の実施率が報告されている。そこで、同調査の結果を各学年の実施率順に整理することにより、課題区分、領域等の実践的傾向および環境教育対象学年の解明を

* 滋賀県高島市立新旭南小学校

** 滋賀大学環境総合研究センター

試みることとした（方法1）。

また、各学年の課題区分、領域等の実践的傾向に関し、都道府県・政令市教育委員会の担当主事の考えを尋ねる調査を行った。具体的には、2020年1月7日付で47都道府県、20政令市（計67自治体）の教育委員会義務教育担当課宛に依頼文書と調査票を送付した。都道府県22か所、政令市8か所、無記入6か所の計36自治体から回答を得た（方法2）。

Ⅲ 結果

1 教育課程調査の分析

1) 材料と方法

教育課程調査に関しては、文科省のウェブサイト²⁾で閲覧可能な2003～2022年度の小・中学校対象の調査10件に、以前は掲載されていた2006年度の調査結果³⁾を加えた11件の調査結果を分析材料とした。教育課程調査の「総合の時間」の実施状況に関する設問は、尋ね方や回答項目（選択肢）が変化してきているため、11件すべてを一括して整理することができない。そこで、回答項目（選択肢）に合わせて調査年度を区切り表1～7に整理した。

表1は、2013年度まで調査されていた課題区分を整理したものである。当初、課題区分は小・中学校共に3区分であったが、2008年改訂で中学校が4区分になった。環境教育対象学年との関係から「横断的・総合的な課題」を黄色で表示した。表2は、2011年度まで同じ回答項目（選択肢）で調査されている4領域を整理したものである。環境教育対象学年をとらえやすくするため「環境」を黄色で表示した。表3は、2009、11年度調査の小学校の「地域の人々の暮らし」、「伝統と文化」の2領域を整理したものである。表4、5は、2013、15年度調査の回答項目（選択肢）に応じて整理したもの、表6、7は2018、22年度調査の回答項目（選択肢）に応じて整理したものである。各表の「環境」を黄色で表示した。

2) 各学年の実践的傾向の読み取り

ここでは表1～7から、最上位の回答項目（選択肢）、および、実施率が概ね50%以上の回答項目（選択肢）を中心に、各学年の近年の実践

的傾向を読み取る。

小学校第3学年においては、表1では「地域や学校の特色に応じた課題」が最上位となっている。表3では、2008年改訂で加わった「地域の人々の暮らし」の実施率が他学年に比べて高い。表4、6では「地域の人々の暮らし」が最上位となっている。これらのことから、小学校第3学年においては「地域（地域の人々の暮らし）」を実践する傾向があるととらえられる。

小学校第4学年においては、表2では、2007年度まで「国際理解」と「環境」が最上位を争っていたが、その後、「国際理解」が順位を下げ、「環境」が最上位となった。また、最下位であった「福祉・健康」の順位が上がってきた。表4では「環境」が最上位となるとともに「福祉・健康」が第2位となった。表6では「環境」と「福祉」は、最上位が入れ替わる状況で、両者の実施率の差は小さくなっている。これらのことから、小学校第4学年においては「環境」か「福祉」、またはその両方を実践する傾向があるととらえられる。

小学校第5学年においては、表2では、2007年度まで「国際理解」が最上位であったが、その後、順位を下げ、代わって「環境」が最上位となった。表4、6では「環境」が最上位となっている。また、上位に見られる「食」も「環境」と密接な関連がある。これらのことから、小学校第5学年においては「環境」を実践する傾向があるととらえられる。

小学校第6学年においては、表2では、2007年度まで「国際理解」が最上位であったが、その後、順位を下げ、代わって「情報」が最上位となった。表3では、第6学年のみ「伝統と文化」が最上位となっている。表4では「伝統と文化」が最上位となり、「情報」が第2位となった。表6では「キャリア」が「伝統と文化」を抑え最上位となり、「キャリア」、「伝統と文化」、そして「情報」の順となっている。これらのことから、小学校第6学年においては「キャリア」か「伝統と文化」、またはその両方を実践する傾向があるととらえられる。

中学校においては、表1では、2007年度まで第1学年は「地域や学校の特色に応じた課題」が最上位、第2学年は、2006年度を除き、「地

表 1 課題区分の各学年の順位（2013 年度まで）

	2003 年度	2004 年度	2005 年度	2006 年度	2007 年度	2009 年度	2011 年度	2013 年度
小学 3 年	地域/学校 (87.6)	地域/学校 (89.9)	地域/学校 (89.9)	地域/学校 (88.5)	地域/学校 (87.6)	地域/学校 (90.1)	地域/学校 (90.8)	地域/学校 (93.3)
	横断・総合 (84.0)	横断・総合 (86.2)	横断・総合 (84.7)	横断・総合 (83.5)	横断・総合 (84.0)	横断・総合 (83.8)	横断・総合 (79.7)	横断・総合 (71.7)
	興味・関心 (58.8)	興味・関心 (59.8)	興味・関心 (59.2)	興味・関心 (56.3)	興味・関心 (58.8)	興味・関心 (55.0)	興味・関心 (50.4)	興味・関心 (57.0)
小学 4 年	横断・総合 (86.4)	横断・総合 (90.1)	横断・総合 (88.8)	横断・総合 (88.1)	横断・総合 (86.4)	横断・総合 (90.5)	横断・総合 (89.9)	地域/学校 (82.5)
	地域/学校 (82.0)	地域/学校 (84.6)	地域/学校 (83.9)	地域/学校 (82.1)	地域/学校 (82.0)	地域/学校 (79.3)	地域/学校 (77.0)	横断・総合 (79.1)
	興味・関心 (59.0)	興味・関心 (60.5)	興味・関心 (60.5)	興味・関心 (57.5)	興味・関心 (59.0)	興味・関心 (57.1)	興味・関心 (52.8)	興味・関心 (59.4)
小学 5 年	横断・総合 (87.5)	横断・総合 (91.0)	横断・総合 (89.6)	横断・総合 (89.0)	横断・総合 (87.5)	横断・総合 (90.1)	横断・総合 (89.1)	横断・総合 (81.2)
	地域/学校 (81.0)	地域/学校 (83.2)	地域/学校 (82.5)	地域/学校 (80.8)	地域/学校 (81.0)	地域/学校 (78.5)	地域/学校 (76.5)	地域/学校 (82.1)
	興味・関心 (61.8)	興味・関心 (63.5)	興味・関心 (62.6)	興味・関心 (59.9)	興味・関心 (61.8)	興味・関心 (57.5)	興味・関心 (53.9)	興味・関心 (60.6)
小学 6 年	横断・総合 (88.4)	横断・総合 (91.3)	横断・総合 (89.9)	横断・総合 (88.8)	横断・総合 (88.4)	横断・総合 (89.2)	横断・総合 (87.7)	横断・総合 (81.1)
	地域/学校 (78.1)	地域/学校 (80.7)	地域/学校 (79.2)	地域/学校 (78.3)	地域/学校 (78.1)	地域/学校 (76.9)	地域/学校 (75.0)	地域/学校 (78.3)
	興味・関心 (65.0)	興味・関心 (67.0)	興味・関心 (66.6)	興味・関心 (64.1)	興味・関心 (65.0)	興味・関心 (61.7)	興味・関心 (59.2)	興味・関心 (67.1)
中学 1 年	地域/学校 (70.9)	地域/学校 (73.4)	地域/学校 (74.1)	地域/学校 (72.6)	地域/学校 (70.9)	地域/学校 (69.7)	地域/学校 (68.3)	地域/学校 (74.2)
	横断・総合 (66.6)	横断・総合 (69.4)	横断・総合 (68.9)	横断・総合 (69.4)	横断・総合 (66.6)	横断・総合 (62.8)	職業/将来 (59.9)	職業/将来 (71.1)
	興味・関心 (45.7)	興味・関心 (48.8)	興味・関心 (49.4)	興味・関心 (46.5)	興味・関心 (45.7)	職業/将来 (55.7)	横断・総合 (59.2)	横断・総合 (55.1)
	—	—	—	—	—	興味・関心 (37.3)	興味・関心 (34.5)	興味・関心 (42.5)
中学 2 年	地域/学校 (66.5)	地域/学校 (69.1)	地域/学校 (69.7)	横断・総合 (67.6)	地域/学校 (66.5)	職業/将来 (83.6)	職業/将来 (87.0)	職業/将来 (92.2)
	横断・総合 (65.7)	横断・総合 (67.8)	横断・総合 (68.0)	地域/学校 (67.5)	横断・総合 (65.7)	横断・総合 (57.7)	地域/学校 (54.2)	地域/学校 (60.6)
	興味・関心 (50.7)	興味・関心 (53.7)	興味・関心 (54.9)	興味・関心 (51.6)	興味・関心 (50.7)	地域/学校 (57.0)	横断・総合 (53.1)	横断・総合 (53.5)
	—	—	—	—	—	興味・関心 (38.6)	興味・関心 (35.2)	興味・関心 (44.2)
中学 3 年	横断・総合 (67.9)	横断・総合 (70.5)	横断・総合 (70.2)	横断・総合 (70.7)	横断・総合 (67.9)	職業/将来 (74.6)	職業/将来 (78.7)	職業/将来 (86.4)
	地域/学校 (60.7)	地域/学校 (62.8)	地域/学校 (63.5)	地域/学校 (61.5)	地域/学校 (60.7)	横断・総合 (62.7)	横断・総合 (58.1)	地域/学校 (57.8)
	興味・関心 (54.7)	興味・関心 (58.0)	興味・関心 (58.9)	興味・関心 (55.6)	興味・関心 (54.7)	地域/学校 (54.0)	地域/学校 (50.2)	横断・総合 (56.9)
	—	—	—	—	—	興味・関心 (42.8)	興味・関心 (40.9)	興味・関心 (48.8)

※括弧内の数字は%。「横断・総合」は「横断的・総合的な課題」、「地域/学校」は「地域や学校の特色に応じた課題」、「興味・関心」は「児童・生徒の興味・関心に基づく課題」、「職業/将来」は「職業や自己の将来に関する学習活動」を示す。

表2 4 領域の各学年の順位 (2011 年度まで)

	2003 年度	2004 年度	2005 年度	2006 年度	2007 年度	2009 年度	2011 年度
小学3年	国際 (58.6)	国際 (65.2)	国際 (64.9)	国際 (65.5)	国際 (58.6)	情報 (55.2)	情報 (45.3)
	情報 (57.4)	情報 (61.3)	情報 (60.9)	情報 (60.4)	情報 (57.4)	国際 (52.0)	環境 (41.2)
	環境 (42.2)	環境 (44.3)	環境 (45.7)	環境 (44.5)	環境 (42.2)	環境 (44.7)	国際 (36.2)
	福・健 (39.6)	福・健 (39.9)	福・健 (40.1)	福・健 (39.8)	福・健 (39.6)	福・健 (38.3)	福・健 (34.6)
小学4年	環境 (60.2)	国際 (65.7)	国際 (65.0)	国際 (65.7)	環境 (60.2)	環境 (63.5)	環境 (60.2)
	国際 (59.3)	環境 (62.8)	環境 (63.8)	環境 (62.3)	国際 (59.3)	情報 (56.0)	福・健 (54.3)
	情報 (58.0)	情報 (62.3)	情報 (61.6)	情報 (61.4)	情報 (58.0)	福・健 (55.6)	情報 (45.7)
	福・健 (50.6)	福・健 (53.0)	福・健 (54.0)	福・健 (54.3)	福・健 (50.6)	国際 (52.7)	国際 (35.7)
小学5年	国際 (63.1)	国際 (68.8)	国際 (68.3)	国際 (68.7)	国際 (63.1)	環境 (61.3)	環境 (59.6)
	情報 (61.7)	情報 (65.4)	情報 (65.0)	情報 (64.6)	情報 (61.7)	情報 (59.4)	情報 (50.8)
	環境 (55.7)	環境 (58.8)	環境 (60.9)	環境 (59.8)	環境 (55.7)	福・健 (42.5)	福・健 (39.2)
	福・健 (46.8)	福・健 (46.7)	福・健 (47.1)	福・健 (46.0)	福・健 (46.8)	国際 (41.1)	国際 (25.9)
小学6年	国際 (69.4)	国際 (74.8)	国際 (75.4)	国際 (68.7)	国際 (69.4)	情報 (59.5)	情報 (51.3)
	情報 (61.6)	情報 (65.4)	情報 (65.3)	情報 (65.0)	情報 (61.6)	国際 (51.1)	国際 (39.8)
	福・健 (48.8)	福・健 (49.7)	福・健 (48.6)	福・健 (47.6)	福・健 (48.8)	福・健 (43.7)	福・健 (38.1)
	環境 (40.0)	環境 (41.6)	環境 (41.5)	環境 (40.5)	環境 (40.0)	環境 (38.8)	環境 (33.1)
中学1年	環境 (40.5)	環境 (42.2)	環境 (41.9)	福・健 (40.1)	環境 (40.5)	環境 (35.9)	福・健 (32.5)
	福・健 (39.1)	福・健 (40.0)	福・健 (40.0)	環境 (40.0)	福・健 (39.1)	福・健 (35.5)	環境 (30.6)
	情報 (27.1)	情報 (28.7)	情報 (27.5)	情報 (27.4)	情報 (27.1)	情報 (22.5)	情報 (19.3)
	国際 (20.4)	国際 (21.0)	国際 (22.2)	国際 (21.2)	国際 (20.4)	国際 (18.0)	国際 (15.7)
中学2年	福・健 (38.1)	福・健 (39.5)	福・健 (38.3)	福・健 (31.0)	福・健 (38.1)	福・健 (30.0)	福・健 (26.2)
	環境 (33.1)	環境 (33.5)	環境 (32.8)	環境 (31.0)	環境 (33.1)	環境 (27.6)	環境 (23.2)
	国際 (24.2)	情報 (25.8)	情報 (24.9)	情報 (24.2)	国際 (24.2)	情報 (21.5)	情報 (18.2)
	情報 (23.9)	国際 (23.6)	国際 (24.2)	国際 (22.7)	情報 (23.9)	国際 (19.8)	国際 (17.5)
中学3年	福・健 (39.5)	福・健 (41.2)	福・健 (41.2)	福・健 (39.8)	福・健 (39.5)	福・健 (34.7)	福・健 (30.8)
	環境 (31.4)	環境 (32.7)	国際 (34.0)	国際 (32.2)	環境 (31.4)	環境 (27.5)	国際 (24.4)
	国際 (31.3)	国際 (32.0)	環境 (32.2)	環境 (30.9)	国際 (31.3)	国際 (27.2)	環境 (22.7)
	情報 (26.4)	情報 (28.5)	情報 (27.5)	情報 (27.3)	情報 (26.4)	情報 (23.3)	情報 (19.5)

※括弧内の数字は%。「国際」は「国際理解」、「福・健」は「福祉・健康」を示す。

表3 小学校2 領域の各学年の順位 (2009、2011 年度)

小学3年	暮らし (71.3)	暮らし (74.0)	小学4年	暮らし (52.6)	暮らし (53.2)	小学5年	暮らし (47.4)	暮らし (47.8)	小学6年	伝統と文化 (48.4)	伝統と文化 (48.3)
	伝統と文化 (37.0)	伝統と文化 (38.5)		伝統と文化 (30.9)	伝統と文化 (30.0)		伝統と文化 (35.3)	伝統と文化 (33.9)		暮らし (39.3)	暮らし (38.8)

※括弧内の数字は%。「暮らし」は「地域の人々の暮らし」を示す。

表4 2013、2015 年度調査の各学年の順位 (小学校)

	2013 年度	2015 年度		2013 年度	2015 年度		2013 年度	2015 年度		2013 年度	2015 年度
小学3年	暮らし (80.6)	暮らし (77.2)	小学4年	環境 (66.0)	環境 (59.7)	小学5年	環境 (65.3)	環境 (59.7)	小学6年	伝統と文化 (60.8)	伝統と文化 (57.5)
	情報 (51.3)	伝統と文化 (41.4)		福祉・健康 (60.3)	福祉・健康 (58.7)		情報 (57.1)	情報 (43.8)		情報 (58.3)	情報 (43.5)
	伝統と文化 (49.0)	環境 (37.6)		暮らし (53.1)	暮らし (43.0)		暮らし (52.5)	暮らし (42.1)		暮らし (47.2)	国際理解 (40.7)
	環境 (45.7)	情報 (36.7)		情報 (51.7)	情報 (37.1)		伝統と文化 (42.0)	伝統と文化 (38.6)		国際理解 (43.6)	暮らし (37.0)
	国際理解 (37.8)	福祉・健康 (32.2)		国際理解 (37.6)	国際理解 (30.4)		福祉・健康 (40.9)	福祉・健康 (36.7)		福祉・健康 (38.7)	福祉・健康 (32.1)
	福祉・健康 (36.9)	国際理解 (30.6)		伝統と文化 (34.7)	伝統と文化 (30.0)		国際理解 (28.6)	国際理解 (26.2)		環境 (35.4)	環境 (30.0)
	防災 (11.2)	防災 (10.0)		防災 (16.9)	防災 (15.5)		防災 (14.3)	防災 (13.1)		防災 (14.3)	社会と政治 (14.3)
		社会と政治 (0.7)			社会と政治 (1.3)			社会と政治 (3.8)			防災 (12.4)

※括弧内の数字は%。「暮らし」は「地域の人々の暮らし」、「資源エネ」は「資源エネルギー」を示す。

表5 2013、2015年度調査の各学年の順位（中学校）

	2013年度	2015年度		2013年度	2015年度		2013年度	2015年度
中学 1年	キャリア (69.7)	キャリア (65.6)	中学 2年	キャリア (92.1)	キャリア (88.8)	中学 3年	キャリア (83.2)	キャリア (80.2)
	伝統と文化 (50.0)	伝統と文化 (45.0)		伝統と文化 (47.1)	伝統と文化 (43.0)		伝統と文化 (51.2)	伝統と文化 (47.0)
	環境 (44.0)	福祉・健康 (38.4)		福祉・健康 (34.1)	福祉・健康 (29.3)		福祉・健康 (39.4)	福祉・健康 (34.7)
	福祉・健康 (42.0)	環境 (35.2)		環境 (30.9)	環境 (24.3)		情報 (29.8)	国際理解 (22.6)
	情報 (28.8)	防災 (21.4)		情報 (28.7)	防災 (19.5)		環境 (29.5)	環境 (22.4)
	防災 (23.1)	情報 (20.0)		防災 (21.9)	情報 (19.2)		国際理解 (25.6)	情報 (20.5)
	まちづくり (18.6)	まちづくり (15.3)		国際理解 (17.6)	国際理解 (15.6)		防災 (22.1)	防災 (19.2)
	国際理解 (16.1)	国際理解 (14.4)		まちづくり (13.4)	まちづくり (10.1)		まちづくり (20.0)	まちづくり (12.1)
		社会と政治 (2.2)			社会と政治 (4.1)			社会と政治 (8.5)

※括弧内の数字は%。「暮らし」は「地域の人々の暮らし」、「資源エネ」は「資源エネルギー」を示す。

表6 2018、2022年度調査の各学年の順位（小学校）

	2018年度	2022年度		2018年度	2022年度		2018年度	2022年度		2018年度	2022年度
小学 3年	暮らし (67.5)	暮らし (68.5)	小学 4年	福祉 (59.4)	環境 (57.6)	小学 5年	環境 (55.6)	環境 (59.1)	小学 6年	キャリア (58.8)	キャリア (66.2)
	伝統と文化 (49.2)	伝統と文化 (53.1)		環境 (57.2)	福祉 (54.4)		食 (49.1)	情報 (49.8)		伝統と文化 (56.7)	伝統と文化 (54.6)
	情報 (37.5)	情報 (43.0)		情報 (37.3)	情報 (43.4)		情報 (43.5)	食 (45.1)		情報 (44.0)	情報 (49.9)
	環境 (35.8)	環境 (34.4)		暮らし (36.5)	伝統と文化 (38.5)		暮らし (33.4)	伝統と文化 (38.0)		国際理解 (38.8)	国際理解 (33.5)
	食 (35.2)	食 (33.4)		伝統と文化 (32.5)	暮らし (38.2)		伝統と文化 (38.2)	キャリア (35.8)		暮らし (32.0)	暮らし (33.4)
	福祉 (30.1)	町づくり (32.5)		キャリア (28.0)	キャリア (30.4)		福祉 (31.3)	暮らし (33.9)		環境 (27.1)	環境 (27.2)
	町づくり (23.6)	福祉 (27.2)		国際理解 (21.8)	防災 (24.1)		キャリア (27.8)	福祉 (27.5)		福祉 (26.3)	町づくり (26.7)
	国際理解 (22.9)	ものづくり (21.1)		食 (21.0)	町づくり (20.0)		国際理解 (24.9)	防災 (20.8)		町づくり (18.9)	福祉 (20.7)
	キャリア (14.1)	キャリア (19.9)		防災 (19.2)	食 (19.1)		防災 (17.2)	町づくり (20.3)		食 (17.8)	防災 (18.4)
	防災 (11.8)	防災 (16.0)		生命 (16.2)	生命 (15.6)		ものづくり (13.2)	国際理解 (19.6)		防災 (15.1)	食 (18.0)
	ものづくり (11.3)	国際理解 (13.6)		町づくり (14.1)	安全 (13.3)		町づくり (12.4)	生命 (14.5)		生命 (13.9)	生命 (15.9)
	生命 (9.5)	安全 (12.9)		安全 (13.3)	国際理解 (12.4)		生命 (11.5)	ものづくり (14.3)		社会と経済 (11.0)	社会と経済 (15.5)
	安全 (8.7)	生命 (10.1)		健康 (9.6)	ものづくり (11.6)		健康 (10.8)	資源エネ (14.0)		健康 (9.2)	安全 (10.5)
	健康 (7.9)	地域経済 (7.5)		資源エネ (9.4)	健康 (10.9)		安全 (8.8)	安全 (11.5)		ものづくり (9.2)	ものづくり (9.9)
	地域経済 (5.8)	健康 (7.3)		ものづくり (8.1)	資源エネ (10.1)		資源エネ (8.1)	健康 (10.8)		安全 (8.4)	地域経済 (9.6)
	資源エネ (1.5)	資源エネ (2.9)		地域経済 (3.1)	地域経済 (5.0)		地域経済 (6.6)	地域経済 (10.8)		地域経済 (6.6)	健康 (8.8)
	科学技術 (0.8)	科学技術 (1.7)		科学技術 (1.5)	科学技術 (3.1)		科学技術 (3.2)	科学技術 (6.5)		資源エネ (4.5)	資源エネ (8.4)
	社会と経済 (0.4)	社会と経済 (1.1)		社会と経済 (0.9)	社会と経済 (1.2)		社会と経済 (1.9)	社会と経済 (3.6)		科学技術 (3.0)	科学技術 (6.0)

※括弧内の数字は%。「暮らし」は「地域の人々の暮らし」、「資源エネ」は「資源エネルギー」を示す。

表 7 2018、2022 年度調査の各学年の順位（中学校）

	2018 年度	2022 年度		2018 年度	2022 年度		2018 年度	2022 年度
中学 1 年	キャリア (73.2)	キャリア (75.9)	中学 2 年	キャリア (91.6)	キャリア (90.8)	中学 3 年	キャリア (85.2)	キャリア (84.2)
	伝統と文化 (47.4)	伝統と文化 (53.8)		伝統と文化 (47.9)	伝統と文化 (49.1)		伝統と文化 (51.7)	伝統と文化 (50.9)
	暮らし (43.0)	暮らし (53.0)		暮らし (37.8)	暮らし (43.8)		福祉 (32.0)	暮らし (38.2)
	福祉 (37.9)	防災 (40.0)		防災 (30.7)	防災 (36.8)		暮らし (31.1)	防災 (37.5)
	環境 (36.1)	環境 (38.2)		福祉 (28.1)	情報 (35.2)		防災 (30.2)	情報 (33.4)
	防災 (32.5)	福祉 (35.8)		環境 (25.4)	環境 (30.9)		国際理解 (28.2)	環境 (33.9)
	情報 (25.5)	情報 (34.8)		情報 (25.1)	町づくり (30.1)		情報 (27.1)	町づくり (32.0)
	食 (21.8)	町づくり (32.7)		国際理解 (20.5)	福祉 (26.1)		環境 (24.6)	福祉 (27.3)
	健康 (19.5)	食 (24.9)		生命 (19.2)	地域経済 (23.9)		生命 (22.9)	国際理解 (26.2)
	町づくり (19.1)	安全 (23.7)		食 (18.5)	食 (22.4)		健康 (19.6)	生命 (22.4)
	国際理解 (18.9)	健康 (19.7)		健康 (18.2)	安全 (21.1)		町づくり (19.6)	安全 (22.0)
	安全 (18.9)	生命 (18.7)		安全 (17.5)	国際理解 (20.3)		安全 (17.5)	食 (22.0)
	生命 (17.9)	国際理解 (18.2)		町づくり (16.2)	生命 (20.2)		食 (17.2)	健康 (20.6)
	ものづくり (12.9)	地域経済 (16.8)		地域経済 (15.8)	健康 (18.0)		地域経済 (12.0)	地域経済 (19.5)
	地域経済 (10.4)	ものづくり (16.1)		ものづくり (12.3)	ものづくり (15.4)		社会と経済 (10.4)	ものづくり (12.0)
	資源エネ (3.8)	資源エネ (8.8)		社会と経済 (3.9)	資源エネ (8.1)		ものづくり (10.1)	社会と経済 (13.0)
	科学技術 (2.7)	科学技術 (5.0)		資源エネ (3.3)	科学技術 (6.7)		科学技術 (4.7)	資源エネ (9.0)
	社会と経済 (2.1)	社会と経済 (3.9)		科学技術 (3.1)	社会と経済 (5.8)		資源エネ (4.2)	科学技術 (6.5)

※括弧内の数字は%。「暮らし」は「地域の人々の暮らし」、「資源エネ」は「資源エネルギー」を示す。

域や学校の特色に応じた課題」が最上位、そして第3学年は「横断的・総合的な課題」が最上位であった。2008年改訂で「職業や自己の将来に関する学習活動」が加わると、第2、3学年ではこれが最上位となった。表2を見ると、第2、3学年では「福祉・健康」が最上位、第1学年では「福祉・健康」と「環境」が最上位を争う状況であった。表5、7では、すべての学年で「キャリア」が最上位で、「伝統と文化」が第2位となっている。とりわけ第2学年は、他の学年より「キャリア」の実施率が高い。これらのことから、中学校ではすべての学年で「キャリア」か「伝統と文化」、またはその両方を実践する傾向があるととらえられる。

2 自治体調査の結果

前節で述べたような細かな分析を行う前に、教育課程調査の結果を眺めながら、「環境」に関する大まかな実践的傾向をとらえ、それに対する都道府県・政令市教育委員会の担当主事の考えを尋ねた。調査の期間、調査対象、回収数はすでに述べたとおりである。

同調査は次の4問に関して、「そう思う」、「どちらかと言えばそう思う」、「どちらかと言えばそう思わない」、「そう思わない」の4択で尋ね、「その他、考えられる要因」について自由記述で回答を求めた。

問1. 「地域」に関する学習について、第3学年の実施率が高いのは、第3学年社会科の

学習内容に地域（市町村）の学習が位置づけられており、それと関連付けて「総合的な学習の時間」の学習指導計画を作る傾向があるからである。

- 問 2. 「環境」に関する学習について、第 4 学年の実施率が高いのは、第 4 学年社会科の学習内容に電気、水道、ガス、廃棄物の学習が位置づけられており、下水処理場や廃棄物処分場の見学を行うことが多いので、それと関連付けて「総合的な学習の時間」の学習指導計画を作る傾向があるからである。
- 問 3. 「環境」に関する学習について、第 5 学年の実施率が高いのは、第 5 学年で宿泊型の自然体験（集団宿泊体験）を行うことが多いことや、第 5 学年社会科の学習内容に国土、森林の学習が位置づけられていることから、それと関連付けて「総合的な学習の時間」の学習指導計画を作る傾向があるからである。
- 問 4. 「環境」に関する学習について、第 1 学年の実施率が高いのは、第 1 学年社会科〔地理的分野〕で日本の諸地域を学習することが多いことや、宿泊型の自然体験（集団宿泊体験）を行うことがあることから、それと関連付けて「総合的な学習の時間」の学習指導計画を作る傾向があるからである。

4 択の結果（表 8）を見ると、問 1 から問 4 へ向けて、「どちらかと言えばそう思わない」と「そう思わない」を足した割合が高くなっている。

自由記述に関しては、自分の自治体ではそのような傾向はないとする記述や、自分の自治体

の調査をしていないのでわからないといった記述が見られたものの、問 1 ～ 4 の設問文に記した要因以外に考えられる要因を記した回答も見られた。以下に「その他、考えられる要因」として挙げられた回答の概要を記す。

問 1 に関しては、生活科「まちたんけん」の学習との関連性が挙げられていた。問 2 に関しては、理科の動植物の季節変化の学習との関連性が挙げられていた。問 3 に関しては、理科の川（流れる水の働き）の学習やそれと関連づけた防災学習、社会科の農業や工業（公害）の学習との関連性が挙げられていた。問 4 に関しては、社会科〔地理的分野〕の世界地理で気候変動を取り上げたり、社会科で資源・エネルギーに関して学習する時に地球温暖化やエネルギー問題を取り上げたりする例が挙げられていた。また、中学校第 2、3 学年で職場体験や進路といったキャリア学習を行うことが多いので、第 1 学年で「環境」に取り組んでいるのではないかといった回答が見られた。

Ⅳ 実践的傾向と要因

教育課程調査の分析から、各学年の近年の実践的傾向として、次の 5 点が明らかとなった。

- ①小学校第 3 学年では「地域（地域の人々の暮らし）」を実践する傾向がある。
- ②小学校第 4 学年においては「環境」か「福祉」、またはその両方を実践する傾向がある。
- ③小学校第 5 学年においては「環境」を実践する傾向がある。
- ④小学校第 6 学年においては「キャリア」か

表 8 実践的傾向に関する自治体調査の回答分布

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない	計
問 1 小学 3 年「地域」	40.6 13	46.9 15	12.5 4	0.0 0	100.0 32
問 2 小学 4 年「環境」	34.4 11	40.6 13	21.9 7	3.1 1	100.0 32
問 3 小学 5 年「環境」	16.7 5	46.7 14	33.3 10	3.3 1	100.0 30
問 4 中学 1 年「環境」	12.9 4	32.3 10	41.9 13	12.9 4	100.0 31

※表中の数字は上段が割合（％）、下段が実数（人）である。

「伝統と文化」、またはその両方を実践する傾向がある。

- ⑤中学校ではすべての学年で「キャリア」か「伝統と文化」、またはその両方を実践する傾向がある。

ここではこれら5点の傾向に関して、自治体調査の自由記述の回答や筆者らの経験に基づいて、その要因を検討するとともに、環境教育対象学年の学習内容を検討したい。

まず、2008年改訂、2017年改訂のうち、これらの傾向に関係する事項を見ておきたい。

2008年改訂で「総合の時間」の学習課題として、小学校に「地域の人々の暮らし」、「伝統と文化」、中学校に「職業や自己の将来に関する学習活動」が加えられたことはすでに述べたとおりである。加えて、小学校第5、6学年に「外国語活動」が導入されたことも挙げておきたい。これらの影響は、2007年度までとその後の教育課程調査結果の違いにおいて顕著に見られる。

2017年改訂では、小・中学校共に「特別活動」の「学級活動」に「一人一人のキャリア形成と自己実現」が明記された。また、小学校第5、6学年に「外国語」、第3、4学年に「外国語活動」が導入された。これらの影響は、表6、7の小学校第6学年と中学校第1～3学年の最上位において顕著に見られる。

次に①～⑤の要因を検討したい。①に関しては、第3学年の社会科の地域（市町村）学習との関連が考えられることに加え、第2学年の生活科の学習の積み上げが考えられる。また、小学校高学年の「伝統と文化」や「地域の人々の暮らし」の学習に向けて、その礎を築こうという意図も想定される。

②の「環境」に関しては、第4学年の社会科、理科の学習との関連が考えられる。すなわち、社会科の電気、水道、ガス、廃棄物の学習、社会科見学（下水処理場、廃棄物処分場）や、理科の生き物とその季節変化の学習が挙げられる。その他に宿泊体験・自然体験を行っている自治体もあり、体験学習が要因になっている可能性も考えられる。「福祉」に関しては、一部の出版社の第4学年の国語の教科書において、ユニバーサルデザインを取り上げた教材が見られ

ることが要因の1つに挙げられる。しかしながら、この傾向を裏付ける十分な要因は判然としない。

③に関しては、第5学年の社会科、理科、家庭科の学習との関連が考えられる。すなわち、社会科の農業（田んぼ）や水産業、工業（公害）、国土・森林の学習、理科の川（流れる水の働き）の学習やそれと関連させた台風・洪水などの災害・防災学習、家庭科の食の学習が挙げられる。その他に宿泊体験・自然体験を行っている自治体もあり、体験学習が要因になっている可能性も考えられる。

④、⑤に関しては、上述の2008年改訂、2017年改訂の影響が色濃く反映していると考えられる。とりわけ④の「キャリア」に関しては、上述の2017年改訂が大きく影響していると考えられる。また、⑤に関しては、中学校が教科担任制であることも要因の1つになっている可能性が考えられる。つまり、学級担任が「総合の時間」の学習指導を行うとした場合、担任教員ごとに担当教科が異なるため、特定の教科の学習との関連づけが難しいという可能性が考えられる。そのため、担当教科にこだわらず実践可能な「キャリア」と「伝統と文化」が上位になっている可能性が考えられる。

最後に環境教育対象学年とその学習内容について検討したい。①～⑤から、「環境」領域をよく実践する学年は、小学校第4、5学年であることが明らかとなった。すなわち、近年の「総合の時間」の学習活動の実践的傾向からすれば、この2学年が環境教育対象学年に挙げられる。加えて、①の地域も、児童の身近な環境であることからすると、第3学年も環境教育対象学年に挙げることができよう。

学習内容に関しては、上述の要因の検討からすると、小学校第4学年では、廃棄物、資源・エネルギー、動植物の生態、自然体験が想定される。また、第5学年では、農林水産業、公害、森林、川、災害・防災、食と、幅広い学習内容が想定される。第3学年の地域に関しては、地域の自然や町並みなどへの気づきや、それらと地域の暮らしや生業とのかかわりといった学習内容が想定される。

V おわりに

注

本研究では、文科省の教育課程調査、筆者らによる自治体調査の結果を用いて、「総合の時間」における各学年の学習活動の実践的傾向の解明とその要因の検討、および、環境教育対象学年とその学習内容の検討を試みた。その結果は既述のとおりであるが、中学校の近年の傾向に関しては、果たして「総合の時間」の趣旨に見合っているのかとの疑問を払しょくし得ない。中学校の教育現場の現状、例えば、教科学習の時間不足、教員の長時間労働といった現状において、「総合の時間」の学習活動に多くを望むのは無理難題かもしれない。

「キャリア」、「伝統と文化」と言っても、その中身や取り組み方は多様であろう。例えば、自分の将来を思い描く時に、SDGsのような「環境」に関わる話題を取り入れ、将来の社会像と自らの将来像を重ねながら学習することは可能ではないかと考える。同様のことは「伝統と文化」においても考えられる。例えば、日本・地域の伝統や文化を、他国の伝統や文化と対比したり、重ねたりして学習する時にも、SDGsのような「環境」に関わる話題を取り入れることは可能であろう。

各学年の実践的傾向を踏まえつつ、持続可能な社会という将来像に向けた環境教育の取り組みを期待したい。

末尾になったが、本稿の執筆にあたっては、市川が主に教育課程調査、自治体調査の整理を担当し、青木が主に要因の検討を担当し、両名の議論と合意に基づいて全体を構成した。なお、連名の順序は姓のアルファベット順である。

- 1) 「総合の時間」の学習課題に対し、課題区分、領域という表現は一般的なものではない。本稿では「横断的・総合的な課題」の中に「国際理解」、「情報」、「環境」、「福祉・健康」の4つがあるという、いわゆる入れ子構造をわかりやすくするために、便宜的にこの表現を用いたものである。
- 2) 文部科学省：教育課程の編成・実施状況調査、https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1263169.htm、2023年8月16日閲覧。
- 3) 2006年度 of 教育課程調査結果は、現在の文科省ウェブサイトには掲載されていないが、以前は掲載されていた。筆者の手元には、2010年12月3日付で取得したpdfファイルが存在する。また、文科省への行政文書開示請求により、平成18(2006)年度の教育課程調査の調査票を入手している。つまり、2006年度に教育課程調査が行われ、結果が公表されたことは事実である。

引用文献

- 中央教育審議会, 1996, 『21世紀を展望したわが国の教育の在り方について (第1次答申)』.
- 文部省, 1998a, 『文部省告示 小学校学習指導要領 (平成10年12月)』, 大蔵省印刷局編集発行, 105pp.
- 文部省, 1998b, 『文部省告示 中学校学習指導要領 (平成10年12月)』, 大蔵省印刷局編集発行, 104pp.
- 文部科学省, 2008a, 『小学校学習指導要領』, 東京書籍株, 237p.
- 文部科学省, 2008b, 『中学校学習指導要領』, 東山書房, 237p.
- 文部科学省, 2018a, 『小学校学習指導要領 (平成29年告示)』, 東洋館出版社, 335p.
- 文部科学省, 2018b, 『中学校学習指導要領 (平成29年告示)』, 東山書房, 329p.